



1年を通して、信州の大自然の中で息づく動物たちを描く

1月から12月のシリーズを通して、藤田さんが選んだテーマは、信州の動物たち。リスなどの小さな小動物からイノシシにいたるまで、信州には豊かな自然を背景に多種多様な動物が生息しています。その動物を通して、信州の魅力を発信するのがシリーズのコンセプトです。

信州の魅力を 信州に生息する動物で表現

なって描いたので、時間が経つのも忘れるくらいでした。何より楽しんで描けたことが、グランプリにつながったのかもしれませんが」と、目を輝かせます。

泉に浸かる3匹の親子猿は、どこかユーモラスでほのぼのとした家族愛も伝わってきます。画材は、発色がきれいなコピックペンと精密な線画も安定して描けるミリペンを選びました。手描きならではの質感が、厳しい大自然の中で生きる猿の躍動感や生命力を感じさせるとともに温かみも伝えています。

2月の主題は、ニホンカモシカとオコジョ。カモシカは、信州の山岳地帯や樹林帯に生息し、国の特別記念物にも選ばれる県獣です。一方のオコジョも長野県の天然記念物に指定されており、志賀高原のマスコットとしても有名。白樺林の中で雪原にすくもたたずむニホンカモシカとオコジョの組み合わせは、おとぎの国に迷い込んだような世界観を表現しています。天上から差し込む陽光に待ちわびた春の気配も感じられ、こころ癒される晩冬の風景です。

将来の夢は3Dデザイナー

現在、授業を通して藤田さんが力を入れているのはデッサンと3Dモデリングです。モデリングとは、ゲームのキャラクターや世界観を3Dを駆使して造形する技術のこと。モデリングのスキルをさらに高め、将来はゲーム制作を中心とした3Dデザイナーを目指しています。苦手だったというデッサンもめきめきと実力をつけ、さらにコンテストでのグランプリ受賞も自信につながったと笑顔を見せる藤田さん。

「無我夢中で描いた1月、2月の作品と

輝くあの人にインタビュー

人きらっとひかる

ふじた ひまり
藤田 陽莉さん

岡学園トータルデザインアカデミー
デザインビジネス科イラストデザインコース1年

信州の魅力を 大自然の中で躍動する動物で表現

今年1月から12月までの1年間、本誌の表紙を飾るイラストを担当するのは、岡学園トータルデザインアカデミーでイラストとデザインを学ぶ藤田陽莉さんです。シリーズを通して描くのは、信州の大自然の中でいきいきと躍動する動物たち。彼らを通して、おほかで優しく、生命力が溢れる信州の魅力を伝えます。

第17回「芸術家発掘コンテスト」 グランプリは専門学校生

当会議所では、今年度も地域の若手芸術家の育成を目的に、絵画、イラスト、版画などの作家を発掘、支援する「芸術家発掘コンテスト」を開催しました。厳正な審査の結果、グランプリに選ばれたのは、岡学園トータルデザインアカデミーでイラストやデザインを学ぶ藤田陽莉さんです。インタビュー会場に現れた藤田さんは、明るい笑顔がはじける19歳。話すたびにクルクルと表情が変わり、見ているだけでこちらもつい笑顔に。有意義で充実したキャンパスライフを送っていることも、その笑顔を後押ししているようです。

藤田さんにとって、今回のコンテストへの参加は、挑戦の意味も込められていました。グランプリを受賞した作品は、繊細で柔らかな作風が特徴ですが、意外にもこういうタッチのイラストは未知の領域だったとか。

「コンテストに出品する機会はなかなかなかったので、今まで描いたことのない作品に挑戦してみようと思いました。夢中に

同様、3月からも初心に返って挑戦する気持ち大切にしていきたいです」。これからどんな動物で私たちを楽しませてくれるのか、次回作も心待ちにしています。



1月8日、当会議所議員新年会で表彰式が行われた

PROFILE

須坂市出身。今回、長野商工会議所主催の「芸術家発掘コンテスト」に初挑戦し、見事グランプリを受賞。2026年1月から12月の1年間、本誌の表紙を担当する。小さな頃から動物が大好きで、実家ではご両親と弟2人、3匹の猫、1匹の犬と暮らす。

DATA

岡学園トータルデザインアカデミー

【設立】1946(昭和21)年

【事業内容】長野県と「デザイン包括協定」を結ぶ、ファッション・グラフィック・イラスト・地域デザインを学ぶ県内唯一のトータルデザイン専門学校。デザインを主軸に少人数制のアトリエ教育を実践、各分野のプロになるために専門性の高いカリキュラムを組み、各業界から求められる知識や技術を養成している。

【所在地】長野市岡田町96-5 TEL 026-226-5719

【URL】<https://okagakuen.com/>